

# ジャパンカップ・コンテストルール

## 1. コンテストの趣旨

ジャパンアップ・コンテストは優れたクロースアップ・マジシャンを発掘することを目的としています。ただし、ここで「優れたクロースアップ・マジシャン」というのは、一般の観客に受け入れられるマジシャンであると同時に、マジシャンの間からも高い評価を受けるようなクロースアップ・マジシャンを指します。従って、ジャパンカップで金賞を獲得したマジシャンは、優れた才能と技量を備えたプロ・マジシャンとして通用するに足るものと確信しています。また、このようなクロースアップ・マジシャンは、その後、JCMA が所属する FISM 主催の WCM (マジック世界チャンピオンシップ) をはじめとする、世界的なマジックのコンテストに挑戦されることが強く期待されることになります。

ところで、「そもそも『クロースアップ・マジック』とは何か」という問いについて、長年にわたり、クロースアップ・マジックに造詣の深い方々と議論を交わした結果、JCMA は次のような立場を取っています。すなわち、「クロースアップ・マジック」の定義はマジシャンの数だけある (!) というものです。クロースアップ・マジックなんだからテーブルを使わなければならない、と主張される方もいらっしゃいますし、使う道具はカードやコインのように小さなものでなくてはならない、と主張される方もいらっしゃいます。また、動物が出てきた時点で、もはやそれはクロースアップ・マジックとは言えない、とおっしゃる方もおいでです。しかしこのような状況の中で JCMA としては、ジャパンカップ・コンテストを催行していく上で、「『クロースアップ・マジック』とは何か」という定義をしなければなりません。そこで JCMA が特に考慮したいと考えている点は、演技の内容が会場の大きさに見合っているかどうか (演技を行う会場での観客数は約 50 名です) という点と、演技が観客にハッキリ見えるかどうか (あまりに小さな道具や、観客に適切に示すことが出来ない道具を使っての演技は不適當と考えます) という点です。また、これは主観的な判断要素も含まれてくる場所ですが、JCMA としては、ジャパンカップ・コンテストを「ステージ・マジックやパーラー・マジックではなく、クロースアップ・マジックのコンテストにしたい」という意思がある、という点です。このような客観的並びに主観的条件のもとで、JCMA としては、「クロースアップ・マジック」の定義を次のように定めることとしました。

**ある演技について、それがクロースアップ・マジックに見えた場合、  
それはまさしくクロースアップ・マジックである。**

従って、事前選考における審査員がある演者の演技を見て、それがクロースアップ・マジックであると感じられた場合で、かつ、その演技がジャパンカップ・コンテストの水準に達していると判断された場合、その演者はジャパンカップ・コンテストのコンテストアントとして認められることになります。そして「事前選考委員」としてはそれぞれの演技に関して、それ以上の基準 (テーブルを使うかどうか、どのような道具を使用するか、立って

演じるか座って演じるか、等々)に当てはめて検討することは一切ありません。以上の点を十分ご理解頂き、ご自分の演じようとしている現象、あるいは特定のプレゼンテーションの仕方が、ジャパンカップ・コンテストの「クローズアップ・マジック」という定義に合致するか否か、ということに関して電話や文書で JCMA に問い合わせをなさるようなことはどうぞ遠慮下さい。JCMA としては、公平を期するために、このような質問につきましてはどなたにもお答え致しませんこと、あらかじめご承知置き下さい。

## 2. 参加資格

①ジャパンカップ・コンテストの水準に達している方であれば、国籍、所属団体を問わず誰でも参加出来ます。参加資格を得るには以下の3つの方法があります。ただし、いずれの場合においても、ジャパンカップ参加時には、JCMA の会員になる必要があります。

(1) チャレンジャーズ・ライブにて金賞を受賞する。チャレンジャーズライブは、東京本部が都内で年に2回(原則として2月と8月)、名古屋支部が名古屋またはその他の都市で年に2回(原則として2月と8月)、韓国支部がソウルで年に2回、計6回開催します。

(ジャパンカップ・コンテストに出場する8名のコンテストのうち、6名が、チャレンジャーズ・ライブで決定されることとなります。)

(2) ビデオ審査に合格する。: JCMA 理事が、動画投稿サイトにアップ・ロードされた演技のビデオを視聴して、審査を行い、ジャパンカップ・コンテストのコンテストとして認められた方が、ジャパンカップ・コンテストに出場出来ます。

この審査に関しては費用がかからないものとします。JCMA は投稿されている動画を、一般に公開しないことを保証致します。

(3) JCMA 理事会に、追加のコンテスト枠を請求する。: これは、(1)と(2)で選出されたコンテストの人数が、8名未満であった場合に限られます。(1)と同様に演技のDVD等を提出して頂きますが、それと同時に、(a)チャレンジャーズ・ライブ等で優秀な成績を残した場合の自薦状、あるいは、(b)諸マジック団体の長またはそれと同等の方からの推薦(他薦)状も提出して頂きます。

②参加費用は、「JCMA 年会費+ジャパンカップ参加費用+コンテスト出場費用(審査費用)5,000円」とします。ただし、コンテストで JCMA が撮影した動画を、YouTube 上で、JCMA 会員に限定公開することに書面で同意された場合は、これを全額免除します。但し、パーティーなど飲食を伴うオプション・プログラムの参加費はこの限りではありません。

③アシスタント等(コンテストと共に観客の前で演技をする場合を除く)の参加費用は、ジャパンカップ参加費用のみとなります。上記の動画公開に同意された場合でも免除

にはなりません。

④ジャパンカップ・コンテストに出場出来るコンテストの人数は8名以下とします。

⑤過去のジャパンカップ・コンテストに参加して金賞を受賞した方は、同一の演技で再びジャパンカップ・コンテストに参加することは出来ません。

### 3. 賞の種類

① JCMA から贈られる賞は Gold Award (金賞 (1位))、Silver Award (銀賞 (2位))、Bronze Award (ブロンズ賞 (3位))、People's Choice Award (ピープルズ・チョイス・アワード (観客投票による賞))、及び Mt. FUJI Award \*の5つです。それぞれの賞の受賞者には賞状が贈られます。

\* Mt. FUJI Award について。コンテスト運営責任者のポール・クリッテリー氏が2008年に、東海道新幹線に乗っていたときのこと。車窓から見えた富士山の姿にポール氏は感激し、夢中でカメラのシャッターをきりました。事実、そのときの富士山は、今までにポール氏が写真や映像で見たどの富士山よりも美しかったのだそうです。ところが、ふと我に返ると、周りの日本人は富士山には全く関心を示さず、お弁当を食べたり、本を読んだりしていたのだそうです。そこでポール氏は考えました。富士山を普段から見慣れている人は富士山を見ても感激しない。マジックについても同じことが言えるのだ、と。そこでマジックを生で見るのは初めて、というような方々を審査員とした、一般の観客の気持ちを反映した賞を創設することも有意義なのではないか、と、思うに至り、これを Mt. FUJI Award と名付けました。

②各賞の受賞者は自分のプロフィールに次のようなタイトルを使用することが出来ます。

(例) ジャパンカップ 2010 金賞受賞 (英文表記: The Japan Cup 2010 Golden Award Winner)

③他の団体や会社・個人により、特別賞が設けられる場合があります。これまで、以下の2つの賞がありました。

- (i) S.A.M. Presidential Award (S.A.M.会長賞) : アメリカ奇術協会会長より贈られる賞。ジャパンカップを通じて、コンテスト同士が互いを理解し合い、友人となる中で、最も尊敬に値するコンテストに対して、それぞれのコンテストが投票する。
- (ii) Johnny Wong Future Award (ジョニー・ウォン未来賞) : コンテストでの出来・不出来、現在の実力にこだわらず、今後、世界に向けて羽ばたいて行くであろう、その将来が期待出来るコンテストに贈る。

### 4. 審査

① JCMA の理事会において、ジャパンカップ・コンテストの出場者 (8名以下) を選考

します。この際、若干名の補欠者も選考される場合があります。補欠者は正規の出場者が出場を辞退された場合に、出場出来ます。

② Gold Award (金賞 (1位))、Silver Award (銀賞 (2位))、Bronze Award (ブロンズ賞 (3位)) は、5名の審査員による審査会で決定されます。審査は審査員各位の採点結果等に基づいて行われます (審査用紙・審査基準は、本文書の最後に添付されています)。コンテスト開始前、及び終了後に、コンテスト運営責任者は審査員を招集し、審査会を実施します。尚、特別賞が設けられる場合は、特別賞受賞者についても原則としてこの審査会で決定されます。

③ People's Choice Award (ピープルズ・チョイス・アワード (観客投票による賞)) については、事前に観客全員に投票用紙を配布します。観客は、よかったと思う3名 (組) のコンテストを選び、投票用紙にチェックを入れます。最も多くの投票を集めたコンテストが受賞者となります。

④ Mt. Fuji Award の選考に当たって JCMA は、5名～10名のマジシャンではない一般の方々に、ご協力を頂きます。この方々にジャパンカップ・コンテストの一般審査員となって頂き、この一般審査員の審査によって、Mt. Fuji Award の受賞者を決定します。尚、審査は、「1位、2位、3位のコンテストを順に選ぶ」という形で行われます。1位のコンテストには3点、2位のコンテストには2点、3位のコンテストには1点が与えられ、集計結果に基づき、最高得点のコンテストに与えられるものとします。

ただし、一般審査員の方々には Mt. Fuji Award とはどのような賞であるのか、といった、次のようなごく一般的な説明を事前に行うものとします。「Mt. Fuji Award とはコンテストで最も不思議、かつ最も楽しい演技をされた方に贈る賞です。」尚、ここで重要なことは、「不思議であること」と「楽しいこと」との両方が、同程度の比重をもった判断基準になる、ということです。JCMA としては、一般審査員の方々にはそれ以上の審査基準を説明することはありません。また、一般審査員はジャパンカップ・コンテスト中並びに投票前に互いに意見交換をすることをご遠慮願うことと致します。

⑤ 審査員の選考は、JCMA 理事会にて行われるものとします。

⑥ コンテストの演技が、明らかに「他のマジシャンのコピーである」もしくは、「重要で効果的な部分を真似している」と認められた場合、失格となります。また、いわゆる「さくら」(特定の人物に特定のセリフを言ってもらったり、特定の行為を行ってもらったりする行為) を使った演技者は失格となります。

【参考】JCMA として「サクラ」の定義:「ボランティアとして、マジックの演技を手伝って下さる方が、そのマジックのタネを知ってしまうような依頼」を、演者が事前にそのボランティアに行った場合、このボランティアは「サクラ」である。

例えば、デビッド・カッパーフィールドが、ダンシング・ネクタイを演じる場合、前列の男性客に、

あらかじめ演技で使用するネクタイを身につけておいてもらいます。(ショーが始まる前に、スタッフがそのような依頼をします。)

この場合、ボランティアは、そのネクタイが演技で用いる特殊なネクタイであることはわかりますが、ネクタイを調べても「タネ」はわかりませんから、この場合の男性客は「サクラ」ではありません。

例えばヘンリー・エバンスが、演技中に、ボランティアに言ってもらいたい「カードの名前(ハートの3、など)」を、ボランティアだけに秘密の方法で伝えます。風船を割るとその中から、ボランティアが言ったカードが出現します。

この場合のボランティアは、かなり「サクラ」に近いわけですが、そのボランティアにしてみれば、カードが風船から出現した部分で驚くわけですし、そのタネはわかりません。そこで(議論はあると思いますが)、このようなボランティアの使い方も「セーフ」と考えます。

通常考える「サクラ」よりはだいぶ基準が甘いとは思いますが、マジックは、あくまで観客が驚き、楽しむことを目的としているわけですから、「ボランティアを含め、「後ろめたい気持ち」を感じることなく)楽しい時間が演者と共に共有されるのであれば、それは容認されるべきである」ということです。ボランティアと事前に適切な打ち合わせを行うことで、よりよいショーが行おうというのであれば(なにも「犯罪を犯そう」というのではないのですから)、そのことをとがめる理由はないからです。

## **5. 演技上の注意点**

①ジャパンカップ期間中に演じられたコンテスト演技の内容については、全て演技者の責任とします。特に演技についての必要な権利と許可条件についてはコンテスト御自身で御確認頂きます。

②演技に音楽を使用する場合には、次に掲げる権利処理が必要になります。

### **a. 音楽著作権**

マジックで音楽を使用する場合、音楽の演奏権使用料が発生します。著作権管理団体にはJCMAが窓口となり、権利処理手続きを行いますので、事前に使用楽曲リスト(楽曲名、作詞者、作曲者、演奏・歌唱者名、使用分数)を提出して下さい。

### **b. 音源使用許諾**

演技に使用される音楽が、市販のCD、テープ、音楽配信等の音源を使用する場合、レコード会社等に音源使用の許諾が必要になります。この使用許諾手続きはコンテスト自身に行って頂きます。許諾手続きにつきましては、レコード会社にお問い合わせ頂くか、JCMAにご相談下さい。また、上記の権利許諾を得られない場合は、コンテストとの話し合いにより当該部分を他の音楽に差し替えて頂く場合もあります。尚、権利処理に関わる費用につきましては、コンテストの負担となりますが、使用料、支払方法につきましては別途相談させて頂きます。

③演技に音楽を使用する場合には、その再生機器は演者が用意し、その操作も演者または演者に同行するアシスタントが行うものとします。尚、JCMAとしても、簡単な音響機

器は準備しておりますので、これを使用することも可能ですが、ご用意いただいたメディア(CD等)が適切に再生できない可能性もあることをご承知置き下さい。

④上記③項にも関連しますが、演技に要する道具の出し入れ、音楽再生機器の操作等を演者自身が行わない場合は、演者は独自のアシスタントを用意して頂く必要があります。

⑤会場にはクロスアップテーブル（直径約121cmの半円形、高さ約83cmのクロスアップ・テーブル。テーブル・クロスは掛けられていませんが、希望者に対しては、黒いテーブル・クロスをかけて使用するものとします。また、テーブルにはサーバントが取り付けられていますが、希望により取り外すことも出来ます。写真参照。）が用意されています。尚、着席して演じる方のためにJCMAでは椅子も準備しております。



⑥コンテストは5分以上10分以内で演じなければなりません。コンテストの司会者が、演技開始時にストップ・ウォッチを作動させます。演技開始後9分で赤いランプを提

示します。演技開始後 9 分 30 秒で赤いランプを点滅させます。演技終了時に、ストップ・ウォッチは停止されます。コンテストの司会者は、演技終了直後に、演技時間を発表します。（演技の開始はコンテストがステージに現れた時か、音楽がかかり演技が始まった時点とします。）尚、演技時間が 10 分を過ぎた場合、タイムキーパーから演技の中止を命じられる場合があります。

⑦本選のコンテストは、約 50 名の観客がいる会場で演じなければなりません。手元を映すライブ・カメラの準備はありません。ライブ・カメラ、撮影をする人、プロジェクター、スクリーン等をご自身で準備される場合は、事前にご相談下さい。

尚、今後は、世界の国際クロスアップ・コンテストの実施状況を鑑み、演技をライブ・カメラで撮影して、プロジェクターでスクリーンに映写しながらの実施も検討しております。この場合、観客は 100 名程度になる可能性があります。

従って、今後のジャパンカップの開催場所などにご留意戴きたいと思っております。また、コンテストがどのような条件下で行われるのかといった情報は、毎年事前にお知らせするよう努めますが、不明な点があれば JCMA にお問い合わせ下さい。

⑧演順はジャパンカップ・運営委員会で決定します。

⑨演技上、電源が必要な場合は事前にご相談下さい。ただしこれは会場側の会場使用条件にも関わることでありますので、原則としては乾電池式・充電式の機器をご使用頂くこととなります。

## 6. コンテストの個人情報・ビデオ撮影・写真撮影

①コンテストの氏名や年齢、顔写真等、マジシャンとしての個人情報は、JCMA のホームページ等を通じて、不特定多数に公開される場合があります。

② JCMA は演技中に写真撮影・ビデオ撮影を行います。撮影した写真及びビデオの一部は広報目的で使用される場合があります。

③ JCMA が撮影した動画は、YouTube 上で、JCMA 会員に限定公開する場合があります。

④観客はコンテストの演技をビデオ・写真等で記録することは許可されておられません。

## 7. コンテスト参加申し込み方法

①参加申込書に必要事項を記入して JCMA に送付（郵送または FAX）するか、e-mail に添付して送信して下さい。尚、申込用紙は PDF ファイルと WORD ファイルで用意されています。e-mail で送信される方についてはコンテスト当日に、署名欄に署名をして頂きますので、送信時は署名欄は空欄で結構です。

②パンフレット掲載用の顔写真をお送り下さい。メールで送信される場合は、j-peg ファイル(500K～1M程度のもの)をメールに添付してお送り下さい。

③本コンテストの申し込み〆切は3月1日とします。必要書類は2月末までに JCMA に届きますよう、十分ご注意下さい。JCMA の事前選考審査会が、ジャパンカップ・コンテストの出場者(8名以下)を3月2日に開催される選考会で選考し、結果をお知らせします。同時に補欠者が選考される場合があります。(2.参加資格の(3)に関しても、この選考会で決定されます。)

④申込先は以下の通りです。

365-0037 埼玉県鴻巣市人形 4-6-25 NPO 法人日本クロスアップマジシャンズ協会  
電話 048-543-2102 ファックス 048-543-8088 e-mail magic@kk.ij4u.or.jp

## 8. FISM ASIA クロスアップ・コンテストの日本代表選出方法

① JCMA は、FISM ASIA 開催年、及びその前年と前々年の計3回のジャパンカップにおけるコンテストの受賞者を FISM ASIA クロスアップ・コンテストの日本代表として、推薦します。

FISM ASIA クロスアップ・コンテストに、何名の日本代表が参加出来るかは、毎回変わる FISM ASIA 主催者の判断に委ねられていることから、JCMA としては、日本代表名簿を作成することとします。(上位何名(組)が、FISM ASIA クロスアップ・コンテストに参加出来るかは、FISM ASIA 主催者の判断に委ねられることとなります。)

日本代表名簿の順位は以下の通りと致します。

FISM ASIA開催前々年		FISM ASIA開催前年		FISM ASIA開催年	
受賞種別	推薦順位	受賞種別	推薦順位	受賞種別	推薦順位
金賞	5位	金賞	4位	金賞	1位
銀賞	7位	銀賞	6位	銀賞	2位
ブロンズ賞	9位	ブロンズ賞	8位	ブロンズ賞	3位

②日本の FISM 加盟団体から推薦された方で、ジャパンカップに出場されなかった方については、ジャパンカップ後、最初に開催される JCMA 理事会にて推薦の可否を検討しま



す。

③ジャパンカップのコンテストで4位以下であったコンテストアントについては、①、②よりも下位で推薦を行います。ただし、「FISM レベル以下」と判断されたコンテストアントはその限りではありません。これも、ジャパンカップ後、最初に開催される JCMA 理事会にて検討するものと致します。